

【令和6年第1回相馬方部衛生組合議会定例会管理者挨拶】

■各施設の放射能測定値の状況について

○光陽クリーンセンターで発生する排出灰について

2月5日測定の結果、主灰が37ベクレル、飛灰が、340ベクレルでした。
なお、飛灰については、1月に約140トンの処分を行っております。

○有害鳥獣焼却場で発生する排出灰について

2月5日測定の結果、主灰が320ベクレル、飛灰が25, 440ベクレルでした。

○衛生センターで生産している肥料について

2月5日測定の結果、120ベクレルであり、国が肥料の流通可能な基準としている400ベクレルを連続して下回っております。

■各施設の運転及び管理状況について

○有害鳥獣焼却場について

本年度の処理状況については、2月7日現在で、472頭のイノシシの搬入があり、随時、焼却処分しております。

○光陽クリーンセンター、衛生センター、一里壇斎苑及び松川浦環境公園について

定期的な保守点検作業と計画的な整備を実施するなど、各施設とも正常運転に心がけ、順調に推移いたしております。

■病院事業について

○先月末日までの受診状況について

入院患者は、延べ31, 617人で前年同期と比較して3, 413人、9.7%減少しております。

外来患者は、延べ77, 528人で前年同期と比較して5, 988人、7.2%減少しております。

入院及び外来患者数は、共に減少しており、現在においても、新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響があるものと考えております。

○発熱外来者の状況について

昨年5月末で相馬市発熱外来が終了したことに伴い、発熱等の症状を有する患者の対応については、待機場所や診察場所を他の患者と区別し、院内発熱外来者として対応しております。なお、院内発熱外来者及び夜間休日の発熱患者数については、

令和5年11月は、569人、

うち、コロナ陽性者28人、インフルエンザ陽性者120人、

令和5年12月は、742人、

うち、コロナ陽性者43人、インフルエンザ陽性者219人、

令和6年1月は、704人、

うち、コロナ陽性者151人、インフルエンザ陽性者119人、

直近3カ月の状況では、発熱患者及びコロナ陽性者は、増加傾向にあります。

○病院建物等復旧工事について

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震により被災した建物等の復旧工事については、去る令和5年7月15日から各病棟の外壁、並びに内壁補修工事を施工し、予定の工期どおり、令和6年1月31日で、完了いたしました。

○令和5年度 初期臨床研修医師の募集状況について

平成24年に基幹型臨床研修病院の指定を受け、これまで19名の初期臨床研修医師を受入れてまいりました。

来年度の研修医の受入れにつきましては、募集定員3名の受入れに向けて、福島県や各大学などが主催する病院説明会に積極的に参加し、様々な募集活動を行ってまいりました。その結果、「医師臨床研修マッチング協議会」の最終組み合わせで、3名の研修医受入れが決定いたしました。

初期臨床研修期間の2年間ではありますが、当院の常勤医師として、職務を担っていただくことに期待するものであります。